



## 10月23日は化学の日

10月23日は「化学の日」です。「どうして？」とお思いになる方も多いかもしれませんが、2013年に日本化学工業協会、日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会の4団体が「もっと化学および化学産業の魅力、社会への貢献などを広く知っていただきたい」という想いのもと制定した日です。

物質の基本単位である「1mol(モル)」にふくまれる原子や分子の数が「 $6.02 \times 10^{23}$ 乗」であるというアボガドロ定数にちなんで、10月23日を「化学の日」、10月23日を含む週(月曜日～日曜日)を「化学週間」に制定しました。海外でも、この日に化学関連のイベントを行う国が多くあるようです。

### ●モルとアボガドロ定数

化学は、自然科学の中の物質の学問です。原子や分子という小さな物質を単位として、あらゆる物質の構造や性質について研究をしています。モルは、メートルやキログラムと並び、国際的に使用されている国際単位系(SI)の7つの基本単位の1つです。

以前、1モルは物質の中に含まれる物質の質量(質量数12の炭素12グラム中に含まれる原子の数)と定義されていましたが、2019年からは、定義定数アボガドロ定数で規定されるようになりました。つまり、化学で取り扱う物質の量の単位の基本は「モル」とそれを定義するアボガドロ定数なのです<sup>1)</sup>。

### ●アボガドロの法則

イタリア生まれの化学者アボガドロ(1776年~1856年)は、

1) 酸素や水素、窒素などは原子で存在するのではなく、二つの原子から成り立つ"分子"として存在する。

2) 同温・同体積の気体に含まれる分子の数は気体の種類にかかわらず同じである。

という考えを1811年に発表しますが、これは、50年後の彼の死後に受け入れられるようになりました。そのさらに50年ほど後に証明され、今では、

「同一圧力、同一温度、同一体積のすべての種類の気体には同じ数の分子が含まれる」ということをアボガドロの法則と呼んでいます<sup>2)</sup>。



### ●「夢・化学-21」と「化学の日」

「化学の日」「化学週間」を制定した4団体では化学のすばらしさ、面白さを伝え、化学にもっと関心を持ってもらうことを目的として「夢・化学-21」というキャンペーン事業を展開しています。

「化学の日」「化学週間」には小学生から一般の方までを対象としたさまざまなイベント(後援を

含む)を開催しています。くわしくは「夢・化学・21」のサイト (<https://www.kagaku21.net/>) をご覧ください。また、サイトの中では、その他にも様々なイベントの紹介や、生活の中で化学がいかにかかわっているかを紹介する「もしも化学がなかったら」や、高校生向けの「化学モノづくり動画」(日本化学工学会作成)、YouTube で実験動画等を配信する「子ども化学チャンネル」(<https://www.youtube.com/@yumekagaku21/>) の紹介などを行っています。

### ●『化学はおもしろい!』 日化協の取り組み

化学製品 PL 相談センターが所属する日本化学工業協会(日化協)では、SNS の公式アカウントを開設し、化学の「力・可能性・おもしろさ」を広く発信をはじめました。

- ・ YouTube 「ニッカちゃんネル」

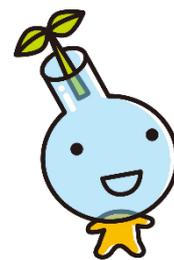
[https://www.youtube.com/@nikka\\_chan](https://www.youtube.com/@nikka_chan)

- ・ TikTok 「ニッカちゃん」

[https://www.tiktok.com/@nikka\\_chan1](https://www.tiktok.com/@nikka_chan1)

- ・ Instagram 「nikka\_channel」

[https://www.instagram.com/nikka\\_channel](https://www.instagram.com/nikka_channel)



日本化学工業協会  
公式キャラクター  
ニッカちゃん

中では、「自由の女神は〇〇色だった」のような、化学の明日話したくなるような化学のトリビアなども紹介しています。秋の夜長に、ぜひ、楽しんでご覧ください。

### 【参考にした情報】

- 1) 国際単位系 (SI) : 国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量総合センター  
<https://unit.aist.go.jp/nmij/library/si-units/>
- 2) 化学の日の由来になったアボガドロ定数とは何でしょうか? : 公益財団法人日本化学会  
<https://www.chemistry.or.jp/kagakunohi/2014/10/602-1023-mol1.html>